

肝炎ウイルス検査はお済みですか？

肝炎の感染に気づかないまま放置すると、知らない間に病気が進展し、**肝硬変や肝がんなどの重篤な症状につながる恐れ**があります。

少なくとも一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう！



～ウイルス性肝炎って？～

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、ついには肝硬変や肝がんに至ることもあります。B型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は、合わせて300万人を超していると推定され、国内最大級の感染症とも言われています。

～肝炎の検査を受けるには？～

【肝炎ウイルス検査ってどんな検査？】

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、採血検査で判断します。採血だけなので短時間で済み、また、数週間で検査結果をお知らせできます。※感染後は3ヶ月ほどたたないと、陽性にならないこともあります。

【検査はどこで受けられるの？】

検査を受診する機会は、以下のようなものがあります。

- ・お住まいの市町村での地域検診
- ・お住まいの都道府県等の保健所での検診

具体的な実施日程や費用などは、それぞれの実施主体によって異なりますので、別途お問い合わせください。

～感染が分かったら？～

肝炎ウイルスに感染していたとしても、肝臓の状態は人によってまちまちです。まずは、専門医に相談してみましょう。

＜主な治療方法について＞

- インターフェロンは、免疫系・炎症の調節等に作用して効果を発揮する薬剤で、ウイルス性肝炎を根治することができるものです。B型肝炎の場合は約3割、C型肝炎の場合は約5～9割の人が治療効果を期待できます。
- 核酸アナログ製剤は、B型肝炎ウイルスのDNA合成を阻害する作用がある薬剤で、ウイルスの増殖抑制の効果があります。

ウイルス性肝炎 Q & A



Q1. ウイルス性肝炎の感染経路は？

肝炎ウイルスの感染経路は様々であり、本人の自覚なしに感染している可能性があります。このため、少なくとも1回は肝炎ウイルス検査を受けることをお勧めします。

〈主な感染経路〉

- 肝炎ウイルスが含まれている血液の輸血等を行った場合
- 注射器を肝炎ウイルスに感染している人と共用した場合
- 肝炎ウイルス陽性の血液を傷のある手で触ったり、針刺し事故を起こしたりした場合
- 肝炎ウイルスに感染している人が使用した器具を、適切な消毒などを行わずにそのまま用いて、入れ墨やピアスの穴あけなどをした場合

また、B型肝炎ウイルスには以下のような感染経路も考えられます。

- B型肝炎ウイルスに感染している人と性交渉をもった場合
 - B型肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子に対して、適切な母子感染予防措置を講じなかった場合
 - 過去の集団予防接種の際に注射器の連続使用が行われた場合
- 注) 予防接種の際の注射器の交換については、昭和33年に注射針について、昭和63年に注射筒について、被接種者ごとに取り替えることとされました。

Q2. 医療費助成制度とは？

国と都道府県では、肝炎の有力な治療法であるインターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療に係る医療費について、あなたの負担額を軽減する助成を行っています。助成の対象となるのは

B型又はC型肝炎のインターフェロン治療及び

B型肝炎の核酸アナログ製剤治療 です。

あなたの世帯の所得に応じて、月当たりの医療費を軽減します。

詳しくは、都道府県又はお近くの保健所にお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

- 厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室
TEL: 03-5253-1111 (月～金曜日、9時半～18時)
URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/index.html>
- 財団法人ウイルス肝炎研究財団 (病気の相談など)
TEL: 03-5689-8202 (月～金曜日、10時～16時)
URL: <http://www.vhf.or.jp/08.consul/index.html>
Mail: vhf@jeans.ocn.ne.jp

【肝炎ウイルス検査に関する検査情報サイト】

肝炎ウイルス検査マップ (随時更新中)

URL: <http://kensa.kan-en.net/>



【肝炎に関する情報】

肝炎情報センターホームページ

URL: <http://www.kanen.ncgm.go.jp/index.html>